

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 明星学園

評価実施期間 22年6月26日～6月26日

1 評価機関

名称	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島
所在地	鹿児島市真砂町34番1号南光ビル303号

2 事業者情報

【平成22年8月1日現在】

事業所名称：社会福祉法人常盤会 (施設名) 明星学園	サービス種別：知的障害児施設 生活介護、施設入所支援
開設年月日：昭和41年4月1日	管理者：施設長 久木元 司
設置主体：社会福祉法人	代表者：理事長 久木元 司
経営主体：社会福祉法人	代表者：理事長 久木元 司
所在地：〒891-1205 鹿児島市犬迫町5975番地	
連絡先電話番号：099-238-0664	FAX番号：099-238-0669
ホームページアドレス： http://www.tokiwakai.com	E-mail： myojyou-j@tokiwakai.com

基本理念・運営方針

社会福祉法人常盤会の理念 「①地域の方々の社会福祉支援を目的に、誠心誠意のサービスを行います。 ②地域の方々が、安心、快適にご利用いただける社会福祉サービスを行います。 ③全ての職員は、倫理理念を遵守し、専門性を高め、地域社会の一員として社会福祉の充実を目指します。」に則り、利用者様の年齢・特性を十分尊重し、自らの力を生み出すための支援を行います。また、利用者様への権利擁護の意識を強く持ち、より専門的な支援ができるようスキルアップに努め、地域に目を向けた福祉活動に努めて参ります。

【運営方針】

- 利用者様やそのご家族の皆様の見解を聞いた上で、個別支援計画書を作成し、個々のニーズに応じた適切な支援を行います。
- 利用者様が、健康で快適な生活を送ることができるよう、常に清潔で安全な生活環境を保つよう努めて参ります。
- 利用者様の立場に立って、本人の権利行使を支援し、人権侵害防止を徹底しうる

環境作りに努めて参ります。

- 学齢期の利用者様については、学校等との連携を深め、将来自立した生活ができるよう育成します。また、18歳を超えた利用者様については、地域での生活の可能性を探り、自立に向けた支援活動の充実を図って参ります。
- 日中活動（生き生き活動）をさらに充実し、利用者様の個別ニーズに即応した活動プログラムの展開を目指します。

【利用者の状況】

定員：児童部30名、成人部40名	利用者数：児童部31名、成人部32名
------------------	--------------------

明星学園 利用者データ

- 年齢階層
 - 20代以下・・・・・・・・・・ 18名
 - 20代・・・・・・・・・・ 5名
 - 30代・・・・・・・・・・ 15名
 - 40代・・・・・・・・・・ 25名

- 利用期間
 - 5年未満・・・・・・・・・・ 15名
 - 5年以上10年未満・・・・ 3名
 - 10年以上20年未満・・ 35名
 - 20年以上・・・・・・・・・・ 10名

- 障害程度
 - 区分A・・・・・・・・・・ 58名
 - 区分B・・・・・・・・・・ 5名
 - 区分C・・・・・・・・・・ 0名
 - 区分なし・・・・・・・・・・ 0名（児童部）

【職員の状況】

職 種	勤務区分				※常勤換算	※基準職員数
	常勤(人)		非常勤(人)			
	専従	兼務	専従	兼務		
施設長	1				1	1
副施設長	1				1	1
支援員	36				36	27
事務員等	4				4	2
前年度採用・退職の状況			採用	常勤 6人		非常勤 人
			退職	常勤 1人		非常勤 1人

○常勤職員の当該法人での平均勤務年数	4. 1年
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数	3. 58年
○常勤職員の平均年齢	32. 2歳
○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢	27. 5歳

3 評価の総評

◇総合コメント

職員の倫理性及び専門性を重視しながら、利用者の社会自立に向けた誠心誠意のサービス提供に努めている。さらに、行政や学校、業界団体との連携を密にしており、自施設に止まらず、広く地域に目を向けた福祉活動に注力している。

◇特に評価の高い点

利用者と一緒に近くの神社の清掃を行っているほか、毎年、市の祭りに町内会の踊り連として参加している。また、園内の畑で収穫した作物は、近くの売店に置かせてもらっている。さらに、社会生活訓練プログラムとして、陶芸教室や絵画教室、フラワーアレンジメントなどの公開研修を開催して、地域の皆様に参加していただいている。

毎月の自治会で利用者からの希望・要望を聴く機会を設けているほか、年二回の利用者アンケート調査を実施しており、「サービス向上委員会」において内容の分析・検討を行い、結果については自治会や家族会で公表している。また、利用者やご家族が意見等を出しやすいように、“こまっていることはないですか？”という分かりやすい文書を作成し配布するとともに、職員の名前と顔写真を添えて目に付きやすい場所に掲示している。

◇改善を求められる点

事業計画の確実な実行と継続的な取り組みをさらに促進するために、年度途中での実施状況把握について検討の余地がある。

人材育成に関して、サービス管理責任者研修や衛生推進者研修等、研修内容により受講させたい職員を検討しているが、個別の職員毎に一覧性のある教育・研修計画は策定されていない。研修成果の支援への応用や自己及び上司評価を盛り込んだ「職員研修記録表」が準備され、継続的に評価・分析する仕組みが出来つつあるので、職員毎の個別教育・研修計画の策定に期待したい。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

当学園においては、施設長の傘下の基、利用者のサービス向上のために、組織挙げて毎日の支援に取り組んでいるところである。評価の結果を受けて、評価の高い項目については、おごることなく、また、改善をしなければならない項目については、さらに検討しながら業務に当たる所存である。特にPDCAサイクルを考慮に入れた取り組み、諸計画についての年度途中の把握や評価についての取り組みを必要とすると考えている。今回の評価の結果を励みとして、職員一同一層精進して参りたい。